

愛ちゃん

社協だより

NO.83.

令和4年(2022)1月号

発行 社会福祉法人立科町社会福祉協議会
TEL.0267-56-1825・有線4091
FAX.0267-56-3815

立科中学校で
福祉体験学習!
!



思いやりの心、
相手を理解しようとする心
を育てよう。

人権擁護月間として車いす体験学習を
1年生を対象に実施しました。

体験では、車いすの操作方法や介助の
仕方を学びました。

詳しくは3ページへ

今月の記事

- 表彰式・コロナ禍での集いの場研修 2
- 人権教育月間「福祉体験」 3
- 寄贈報告・秋ボラ報告 4
- たてしなまちのボランティアさん 5
- ふれ愛園だより など 6
- 地域の活動紹介します・「ただいま」便り 7
- 社会福祉協議会からのおしらせ 8

「愛ちゃん」の発行には
「赤い羽根共同募金」の配分金が使われています。

立科町社会福祉協議会 表彰式

立科町社会福祉協議会では、町の福祉に貢献いただいた個人や団体、企業に感謝状の贈呈を行っています。

今年は、十月八日に老人福祉センターにおいて十八年間、国道142号ゴミ拾いボランティア活動にご協力をいただいている株式会社 小宮山土木様と、立科町商工会女性部様に感謝状を贈呈いたしました。そして、立科町社会福祉協議会へ多額のご寄附をいただいた立科町のぞみ会（一人暮らしの高齢者の会）様に感謝状を贈呈しました。

また、長野県共同募金会から安心・安全なまちづくり活動のための避難所用物品整備費用として200,000円が配分される、姥ヶ懐区、山部区自防災部へ目録が手渡されました。

この配分金には、令和2年度に皆様からいただいた赤い羽根共同募金の一部が使われており、姥ヶ懐区では、発電機、投光器、非常灯、山部区自主防災部では、テント、投光器が整備されました。

地域福祉係
久保井 康



**安心・安全のまちづくり活動
公募配分目録贈呈式を行いました。**



前列左から 山部区様、のぞみ会様、(株)小宮山土木様、商工会女性部様、姥ヶ懐区様
後列は理事の皆様



コロナ禍で気を付けること

- ① ユニバーサルマスキング 正しいマスクを正しくつける！
- ② 換気が重要！人が集まる場所では持続的な換気を！
- ③ ワクチン接種 変異株でも重症化は防げる！
 - ・運動は一人より仲間とするのがお勧め
 - ・何を食べるかは大事だが、どこで誰と食べるかも大切！

社会参加が、死亡率を下げるというデータもあります。一人では社会参加は達成できません。自分の健康を守るために、老人クラブ活動、サークル活動などにも積極的に参加しましょう！



10月25日(月)「コロナ禍での集いの場づくり研修」が開催され、東北大学大学院歯科研修科教授 小坂 健氏の講演を聞きました。

「ドクターによる安心・安全のサロンの開催方法がわかる！」という演題で、新型コロナウィルス感染症の現状を聞き、感染予防対策の基本を復習しました。ドクターの、医学的な裏付けがあるお話しは、参加された皆さんのお話を後押ししてくれたように感じました。「最初難しかったけど、ドクターの話は勉強になった」「今日の話を聞いて、うちの地区でもそろそろ集まろうかなと思ったよ」「ちょっと残っていた不安がなくなった。感染予防対策しながら自信を持って活動しようと思う」など前向きな感想をたくさん聞くことができました。

地域活動専門員 内藤 明香

立科中学校で「福祉体験学習」

立科中学校で一年生が車いす体験学習をしました。

普段見かける事はあっても自分が乗って介助してもらったり、人を乗せて操作する機会は中々ないものです。

車いすの方への声かけや、操作中の注意点などを教えてもらい体験を通して、車いすでの生活の大変さや、相手の立場に立って思いやる心の大切さを学びました。

ワンポイント!

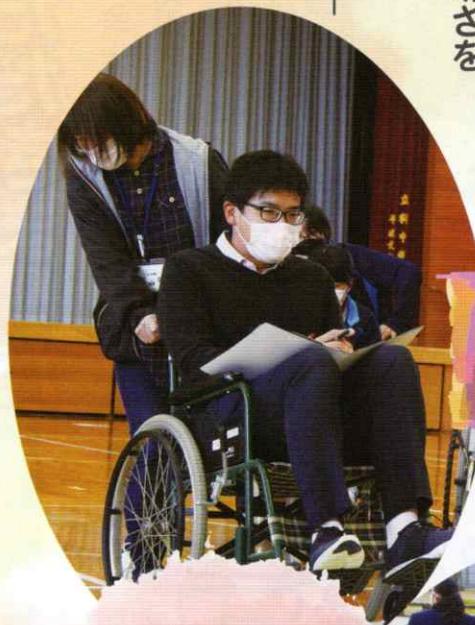
「目線をあわせてあいさつしましょう。」「動き出す時には声をかけましょう。」

車いすに乗っている時に「のぼります」など知らせてもらうだけで安心感がありました。

普段自分たちができるていることが、車いすのひとにはとても大変だということが分かりました。また、困っている人を助けるということの大切さを知りました。

車いすにのってみると視線がとても低くてびっくりしました。話にもあったように、高いものをとるのは大変だなと思いました。

車いすは動きやすい形に考えられていると思いました。世の中がもっといろいろな人に寄り添えるようになったら素敵だし、もっと暮らしやすい世の中になればいいなと思いました。



ご寄贈いただきました

東信地区郵便局長会 佐久北地区部会様より
車いすに使用する「充電式空気入れ」を
ご寄贈いただきました。



また、10月3日には局長会の
ご家族で結成された、佐久
北地区部会夫人会しらかば
会を含めた31名の皆さんに
国道142号線ごみ拾いに
ご協力をいただきました。
重ねてお礼申し上げます。



スッキリ☺
(小学校2年生)



社会貢献をしたい
と思い参加しました。
機会があればまた参加
したいです。
(高校生)

立科町民の一員として
町のために何か貢献したいと
思い参加しました。町がきれい
になっていくにつれ、心もきれい
になっていくようで、嬉しく思
いました。

(中学校3年生)

宇山バイパス信号から佐久市茂田井
の境まで、長距離でしたが皆さん一生
懸命に拾つていただき大変きれいにな
りました！

ボランティアコーディネーター
山越
未来

秋ボラ 報告 2021

前回中止・延期した「夏ボラ2021」
で予定の「国道142号線ごみ拾い」を
11月13日に実施しました！

小学校・中学校・高校生・保護者の皆
さん合わせて33名の方にご参加いただ
きました！

少しでも町を綺麗に
して、町の人たちが過ごし
やすくなるように協力したくて
参加しました。友達と分担して
綺麗に出来たので良かった。

(中学校3年生)

町のために参加
するのはいいなと思
いました。
(中学校3年生)

自分が住んでいる
立科町をキレイにしたい
と思い参加しました。たく
さん拾う事ができて、うれし
かったです。
(中学校1年生)





ふれあい読書ナ〜ン

毎週月曜日に立科小学校高学年の朝の会や保育園、金曜日には老人福祉センターで開催される「おむすびサロン」で、読み聞かせをしているグループです。

今回は、保育園での活動の様子を紹介します。



「しってる～」
「わかった～」
と楽しそうな声が聞こえてきます。



一緒に数を数えたり、目線を合わせ、園児が集中できる工夫をしています。



ボランティアさんからひとつこと 子どもたちからたくさん元気をもらっています!

13年前から本が好きな仲間と活動しています。

美しい日本語の本や自分のお気に入りの本を中心に読み聞かせをしています。本は自分が行った事のない色々な世界へ行く事ができます。

本を通して、想像をかきたて、思いやりの心や優しい気持ちを育む助けになればと思っています。

ボランティアコーディネーター 山越 未来



お話を好きな園児たち。読み聞かせを楽しみにしているようです。



たてしなふれ愛園 だより

たてしなふれ愛園では、障がいのある利用者の方々が自立した生活や社会生活ができるよう、必要な知識及び能力向上のため様々な仕事に取り組んでいます。

今回はその中でワラ馬作りについて紹介します。

ワラ馬は無病息災や幸運の駒としてもご利益があります。

ぜひ大切な人に一ついかがでしょうか。

一つ一つ
心を込めて
作っています

ワラ馬作りは20年前から始まりました。当初は作り手が当園にいなかつた為、頂いたワラ馬を分解して、どのように作られているかを研究し、試行錯誤して出来たのが今のワラ馬です。

昔と違い、約5センチ程の小さいワラ馬です。一つ一つ丁寧に手作りしているため、みんな表情や大きさが少しずつ違っています。

どの作業も細かく、根気が入ります。何よりも大切なのがワラ馬に適した良質の藁です。町内の方に藁を頂くなど、大勢の方に助けられながら、一つのワラ馬が出来き上ります。

生活指導員 竹重 千恵実

ありがとうございました!

今回も多勢の方から沢山の古着や布製品をご提供頂き、大変感謝しております!!

たてしなふれ愛園では引き続き、綿50%以上の古着や布製品をウエス等に再利用していますので、今後ともご協力下さいますようお願いいたします。

なお、ご不明な点等ございましたら、お気軽にふれ愛園にお問い合わせ下さい。



(立科町地域活動支援センター利用規定)

利用対象者：町内に住所を有する、障がいのある18歳以上の方。

開所日時：平日 8時30分～17時15分

*土日祝日、年末年始(12/29～1/3)はお休みとなります。

お気軽にお問い合わせください。

見学も随時お受けしております。

立科町地域活動支援センターでは、就労体験の一環として、たてしなふれ愛園利用者の皆さんと一緒に作業を行う機会を設けています。

袋の折込み作業やボビンみがき作業など、ご本人の体調を考慮しながら作業に取り組んでいただき、体力や集中力、コミュニケーション能力等の向上を目指しています。

相談支援専門員 櫻井 瑞惠



立科町地域活動支援センター

地域の活動紹介します

10月22日(金)は日向ぼっこ会、藤沢ほほえみネットワークの会、町区ふれあいネットワークの会が開催され、ネットワークの会盛りの一日でした。

久しぶりの公民館での活動となつた会もありました。コロナウイルス感染状況も落ち着いてるけれども、やっていいものか…と躊躇しているなら「やろうよ。」「できるよ」と会の皆さんからの後押しがあったそうです。



3つの活動が 同じ日に行われました!



配食を行つた地区もあります。ちらし寿司、炊き込みご飯が地区の皆さん（希望する方）に配られました。感染予防対策のために、今までの全部手作りの工程を工夫しました。準備は手間がかかりますが、配ることで久しぶりに地区の方とお話ししたり、ちょっとと心配な人の情報共有をしたり…コロナ禍で細くなつた「ご近所さん」同士の繋がりの糸が、ネットワークの会員の皆さんのはいによってまた紡がれたように感じました。

3地区の活動が同じ日に開催されることとはとてもめずらしく、全部に顔を出せず残念！でしたが、嬉しい「残念」でした。

地域活動専門員 内藤 明香

「ただいま農園」で、今年初めてさつまいもの苗を植え付けました。植えっぱなし状態でしたが、なんと大豊作になりました。

11月初旬、さつそく焼きいも会をしました。さつまいもを濡れ新聞とアルミ箔で包み、バーベキューコンロの中の炭火の中へ投入！火の周りに集まると、自然におしゃべりがはずみます。

「ドジョウやタニシもいいけど、この時期はやっぱり焼いもだね！」

待つこと40分、いい香りが…。

この日のメニューは、かぼちゃほうどうでしたが、皆さんまず口にしたのは、熱々、ホクホクの焼いもでした。身体中が焼いもの匂いで包まれた、秋の一日となりました。

焼いも
かんぱーい



担当職員 飯塚 千鶴子

善意のご寄付ありがとうございます。



のぞみ会 128,647円

匿名 11,896円

匿名 乳児用ミルク

匿名 農具・雪かきスコップ

匿名 玄米 120kg

匿名 糙米 5袋

匿名 玄米 60kg



いただいたご寄付は、地域福祉の
推進に活用させていただきます。
ここよりお礼申し上げます。



傾聴ボランティア 希望者募集

傾聴とは、相手を否定せず、耳も心も傾けて話を聞く会話のことです。

立科町内では、傾聴のトレーニングを積んだボランティアさんが活動しています。

「お話を聞いて欲しい」という傾聴ボランティアをご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。



「愛ちゃん」は、
町のテレワーカーが
携わっています。



鈴木
美穂



長岡
雅子



清水
舞



鈴木裕見子

今年も一年間ありがとうございました。

83号は、鈴木美穂さん・長岡雅子さんが
加わり、楽しい紙面作りができました。
これからも、皆様に親しんでいただける
「愛ちゃん」を目指します！

ちょっと一息 頭の体操

第8回 立科町クイズ

第1問

立科町の観測史上、最低気温は
何度だったでしょう？

💡 温暖化の影響で、近年は暖冬が多い？

- ① -20.7度
- ② -50.5度

第2問

立科町にあるスキー場の
名前はどちらでしょう？

💡 女神湖近くにありますよ！

- ① 白樺高原国際スキー場
- ② 富士見高原スキー場

*当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

前回の答え 第1問「②2440人」 第2問「①2人」

官製はがきに ①氏名 ②住所 ③電話番号 ④クイズの答え

⑤今号の社協だよりのご意見・ご感想をご記入のうえ、立科町社会福祉協議お送りください。

抽選で2名様に
素敵なプレゼントを
お贈ります！